

(様式 1)

平成 1 4 年度 次世代 I T を活用した未来型教育研究開発事業

研究実践計画書

1 学校名

古川町立古川中学校

2 研究実践の概要

(1) 地域素材の V O D データベースの構築

- ・理科、地域素材特に地学領域

本校周辺の飛騨地域には、古生代の岩石から、新生代火山まで、さまざまな地層・岩石が分布している。それらを実際の観察とリンクさせながら、データベースとして構築し、生徒自ら、調べることのできるものとしたい。

(2) 「わかる授業、楽しい授業」の実施

- ・校内 L A N を利用したコミュニケーション能力の育成、I T 社会への生きる力

掲示板、メールなどの利用して、まずは校内での情報のやりとりをおこない、その中で I T 社会に出て、情報を有効に活用できる生徒の育成をおこなう。

- ・総合的な学習の時間における情報発信

本校のおこなう、総合的な学習の時間における生徒の主体的な活動をホームページなどを利用して外部に情報発信をおこなう。また、海外研修などをおこなう生徒には、海外とのメール交換をおこない、事前・事後指導に生かす。

(3) 高速大容量回路を用いた学校間等の連携

- ・小学校・中学校間の情報交流

小学校卒業前に、中学校入学の事前学習として、生徒と児童間の情報交換をおこなう。

- ・福祉学習におけるテレビ会議システムの活用

本町の福祉の拠点、老人ホームとのテレビ会議を利用して、福祉教育に利用する

3 年間計画

月	研 究 内 容	備 考
4	全体計画	
5	ハードウェアの学習 校内 L A N 活用	
6	学校間のテレビ会議システム利用	
7	福祉学習のテレビ会議システム利用	
8	地域素材収集、編集	
9	地域素材のデータベース化	
1 0	地域素材のデータベース活用	
1 1	総合的な学習の時間における情報発信	
1 2		
1	総合的な学習の時間における情報発信	
2		
3	小中学校間のテレビ会議システム利用	